



ブするところでは、片方の土手だけに大きな力が加わり、大雨で水がふえれば大変な力になります。水力に負けない土手はどの位の強さがあるか、豊助の計算力がここでも生かされます。

土のやわらかな所の工事には、どの位の資材を使ったらくずれない土手がつくれるか、豊助の計算にしたがって必要な資材が用意されます。岩場のかたい所では、それにあつた道具を使わなければなりません。豊助は、西名子屋町の谷蔵など、腕のいい鍛冶屋さんに道具を作つて